



# 東西南北

2023.9.5



円錐形をした秀麗な富士山はまさに日本の象徴だ。日本一高い。誰もが一度は登ってみたいと思う。だが、かつてこんな言葉があった。「富士山には一度登るもの。二度登るやつは馬鹿」である▼山には多くの山小屋がある。登山ピークの夏場、8月は稼ぎ時で、激しい客引きに嫌な思いをしていたらしい。今はどうか知らないが、アリの行列みたいな登山風景を見ると、別の意味でうんざりするかもしれない▼新型コロナの規制が解除され、再び富士山に登山者が押し寄せている。しっかりと計画して登る人の一方、半袖半ズボン

やサンダル履きの観光客もいて驚く。途中、体調不良で救急搬送される人も相次いでいる。これでは近寄りたさが増す▼頂上には2004年まで有人観測所があった。観測官だった作家の新田次郎が「富士登山に忠告する」（『続・山の歳時記』所収）という文章を書いている。夏は雲が多く、頂上での見晴らしは時の運。防寒具など万全の準備で登山し、悪天候も貴重な体験とする。登山は心がけが大事である▼太宰治は富士には月見草がよく似合うと書いた。実は石碑がある御坂峠（山梨県）周辺にはないらしい。似たような待宵草を見間違えた可能性があるとか。それでも太宰にくみしたい。富士山は登るのもいいが、その姿を遠くから眺めるのもいい。（T）

大分合同新聞 2023年9月5日（水）朝刊 1面

〔問①〕印象に残った箇所に~~~~線、主題（筆者が一番伝えたい箇所）に——線を引こう。

〔問②〕感想や意見などを書いてみよう。

## ※問①②自由記述

〔問③〕漢字の読みを書こう。

- ①秀麗（しゅうれい） ②象徴（しょうちょう） ③誰（だれ）  
④稼ぎ（かせぎ） ⑤嫌（いや）

〔問④〕次の意味を持つ言葉を記事の中から探してみよう。

- ①次々に起こる。続けざまに起こる。（相次いでいる）  
②遠くまで広く見渡すこと。（見晴らし）  
③条件、要素などがそろっていて、不足や欠点などがなさ。 （万全）  
④どんな事態にもいつでも対応できるような心の準備。（心がけ）